



はくざんコミュニティ・スクールだより



令和7年11月25日発行 第6号



車椅子バスケット



5年生は、はくざんっ子学習でパラスポーツクラブのサポーターさんたちの指導の下、車いすバスケットの体験学習をしました。最初に、車いすを使っている人が生活の中で困っていることなどを教えてもらいました。子どもたちは、サポーターの方から「知ること、体験すること、気づくこと」をテーマにご講演をいただき、興味深く耳を傾けていました。その後、競技用車いすの操作を教えてもらい、鬼ごっこや車いすバスケットにも挑戦しました。シュートを決めると大歓声が上がり大いに盛り上がりいました。子どもたちは、車いすバスケット体験を通じて障がいに対する理解を自然に深めることができました。



わくわく学習部会



大獅子のお話



10月28日に3年生は、大獅子保存会の方から、大獅子についてお話を聞きました。大獅子の由来や制作の苦労についてお話を聞いた後、たくさんの質問に答えてもらいました。そして、実際に大獅子に触れてみました。子どもたちは、製作には大勢の人の工夫と協力、時間がかかっていることや伝統を守って伝えていくことの大切さや素晴らしさを知ることができました。



にこにこ生活部会



掲示ボランティア



掲示ボランティアでは、月1回程度で学校内の掲示物を作成してくれています。季節感を感じる四季折々の作品や、入学式、卒業式など行事の作品も作成して飾ってくれています。また、古くなった作品は、修正して新しい素敵な作品に生まれ変わっています。子どもたちも、掲示ボランティアの作品を楽しみにしています。



はぐくみ運動「サイコロトーク」の実践から

今年のはぐくみ運動では、「サイコロトーク」に取り組みました。「サイコロトーク」とは、サイコロを振って出した目のお題について、お話をするゲームです。学級の友だちや家族の前で自分の考えを言葉にしたり、お互いのことに関心を向けたり理解を深めたりすることを目的としました。学級で友だちと行った後、家でも取り組み、その感想をお寄せいただきました。子どもたちや保護者の方の感想をいくつかご紹介します。

盛り上がったお題をご紹介!



家族の意外な一面が知れました。自分が知らないことも話してみるとたくさん分かってきたのでおもしろかったです。

全部のお題をやってみて、母が人生で1度はやってみたいことを日本一周と言っていたのでびっくりしました。家族のこと、まだ知らないことがあるので家族のことを改めてもっと知りたいと思いました。

普段は、こんなにゆっくり、みんなで集まって話さないから楽しかったです。もっといろんなお題で、サイコロトークをしたいです。

- ・ 本の世界に入れるとしたら、何の本？
- ・ 水の中で息ができたら何をしたい？
- ・ ドラエもんの道具が一つもらえるとしたら？
- ・ 流れ星を見たら、どんな願い事をしたい？
- ・ 家族に入れ替わるなら、だれになりたい？
- ・ 100万円あったら何に使う？
- ・ 1日、コーヒーしか飲めない、牛乳しか飲めないならどっち？
- ・ パapaが作るごはんが好きなメニューは？

このお題でも、さいころトークをやってみてね。

楽し過ぎて、もう一回やりたくなりました。お父さんとやって盛り上りました。もっと、もっとやりたくなりました。

お母さんとお父さんはいつもお仕事が忙しいので、一緒に何かをすることはあまりなかったので、一緒にサイコロトークができてうれしかったです。



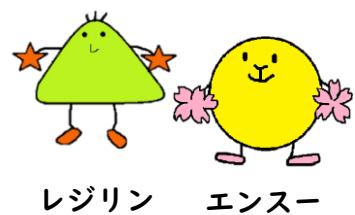
初めてのはぐくみ運動だったけど、家族みんなで盛り上がって、楽しくできました。また、やってみたいです。

みんなが盛り上ってくれて、うれしかったです。こんなに大人も楽しくなるところは見たことがありませんでした。

「家族からの一言」より

- ・ お題を決めて話すことはないので、新しいトークでした。これからもたくさん会話して、いろんな発見をしたいです。
- ・ 普段は恥ずかしくて言えないけれど、家族の好きな所を伝えられてよかったです。言ってもらった方も嬉しく、心が温かくなりました。
- ・ 最近は毎日の生活に追われていて、繰り返しの日々を送っていましたが、改めて考えてみる時間があったことで、本来自分がしたかったことを思い出せ、はっとしました。子どもの考えていることを新たに知ることもでき、よい取り組みだと思いました。
- ・ 将来の夢を聞けて良かったです。また変わるかもしれないけれど、夢に向かって今を頑張ってほしいと思います。日常の中で聞くことが少ないお題もあり、子どもが何を考えているか知ることができるよい機会になりました。
- ・ いつもたくさんお話をされるけれど、お題を決めて話をすると、「そんなこと思っていたの？」と新しい発見があつて面白かったです。また違うお題でもやってみたくなりました。
- ・ どのお題の答えも、家族に関係することが多くて家族のことを思ってくれているのが伝わって嬉しかったです。こういうコミュニケーションの時間もたまには良いなと思いました。

偶然出たお題について答えるため、普段は考えたこともなかったことや、気恥ずかしくて少し言いづらいことでも、みんなの前で発表するよい機会になったのではないでしょうか。友だちや家族の意外な一面や考えに気づいたり、もっと知りたいなあという思いがわいてきたりしたかもしれませんね。はぐくみ運動をきっかけにこれからも、楽しいコミュニケーションの時間をとれるといいですね。ご協力ありがとうございました。



レジリン エンスー